



夏季休業前ダイジェスト版

高校生活 スタート!

令和2年度入学式が4/8(水)に本校第一体育館で行われ、30名の新生を迎えました。新型コロナウイルス感染症防止のため在校生を参加させず、また来賓の人数を絞る等の対策を施し、例年より少ない人数で行われました。そんな中でも新生を代表して1年A組の藤田悠雅君が力強く宣誓しました。文武両道を目指し、素晴らしい高校生活を送ってほしいと思います。



【1年A組】



【1年B組】

前期清掃活動により 地域貢献活動を展開

5/29(金)、通学路や校地内の清掃・環境整備をとおして、環境美化に対する意識の高揚と奉仕の心を育みました。各学年に清掃区域が割り当てられ、1年生は校門から国道45号線まで、2年生は校門から竜泉寺まで、3年生は校地内の花壇と周辺の草取りに汗を流しました。例年であれば、高校総体に参加しない文化部所属生徒等による活動ではありますが、今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため高校総体中止により、全校生徒による一大行事となりました。その甲斐あってか、例年以上のゴミの量の回収となり、改めて奉仕の心の大切さを全校生徒で共有することができました。



8/26(水)に同町船越の「浦の浜海水浴場」で開催さ

れる恒例行事「海の運動会」では、浜辺でのスポーツ競技に加えて海岸清掃も予定されています。普段お世話になっている通学路の清掃だけでなく、山田町の大切な自然への感謝の気持ちを込めて清掃活動に取り組む予定です。

有事に備え、避難訓練

6/17(水)、二部構成により第1回避難訓練が行われました。

第一部では、「2階特別教室より火災が発生し、有害なガスが発生している可能性があり、全校生徒は口にハンカチを当て直ちにグラウンドへ避難する」という想定で行われました。生徒一人ひとりが校舎から緊張感をもって安全かつ迅速に避難することができました。

第二部では、災害時に本校が避難所になったときのための設営訓練が行われました。各学年に設営内容が割り当てられ、1・2年生は畳敷き、3年生は長机の設置及び本校に設置されている山田町防災倉庫より第一体育館へ物品の搬入に奮闘しました。

本校は、東日本大震災発生時、町指定の避難所として最大約1,300名の方々が利用しました。当時のことを教訓として語り継がれ、避難訓練の際には役場職員の方々を招き、指導を仰ぎながら迅速に避難所の設営することが一つの訓練として定着しています。

訓練終了後、役場総務課危機管理室の方より講評をいただきました。

- ・訓練でできないことは、本番でもできない。
- ・畳間には、最初から必ず通路を作る。
- ・新型コロナウイルス感染症拡大を防止するため、畳間のスペースは2m空ける。
- ・山田高校は、通常約250名の避難所となるが、感染症を考慮し通常の1/3の90名が妥当となる。
- ・濃厚接触者を特定するため、必ず避難所名簿を作成する。等々

生徒一人ひとりは、避難訓練と併せて新型コロナウイルス感染症対策について再認識し、多くのことを学ぶことができました。



最後に学校長から講評があり、「命ほど大切なものはない」という言葉に全員が共感し、第1回避難訓練を終えました。

↑ 畳敷き

役場総務課危機管理室の方より講評↓



↑ 山田町防災倉庫から物品の搬入

熱戦！ クラスマッチ

6/25(木)～26(金)の2日間、クラスまたは学年単位でのスポーツを通じた団体活動により、級友との交友を深めることを目的としてクラスマッチが開催されました。



↑長縄跳び優勝 2年生

当初、新型コロナウイルス感染症の影響により開催自体が危ぶまれました。しかし、クラスマッチ実行委員会が何度も開かれ、競技種目の選定や感染症対策が幾度となく話し合われ、実施へとこぎつきました。

例年通り、クラスまたは学年の帰属意識を高めるために通称「クラT」を着て、球技6種目と運動会2種目に熱戦が繰り広げられました。

あいにくの雨模様となった2日目の午後、運動会種目である長縄跳びと選抜リレーが第一体育館で一同を会して行われました。まずは長縄跳び、2分間で連続



↑選抜リレー優勝 1年生

して跳んだ回数の中で、最も記録の良かった回数を制したのは2年生の200回でした。最終種目は健脚を競う選抜リレー、会場は大いに盛り上がり、僅差を制したのはなんと1年生でした。

閉会式では、総合順位が発表され、3年A組が群を抜いて見事総合優勝を飾りました。最後にクラスマッチ実行委員長が挨拶をし、全校生徒が教職員と対面して行事の開催に協力いただいたことに感謝の意を表しました。生徒一人ひとりの成長を感じることができた一コマでした。2日間のクラスマッチを通して、各競技の勝敗を超えて、クラス、学年そして全校という身近な集団関係をより強固にすることができた行事となりました。



総合優勝 3年A組↑

新体制決まる！

7/13(月)6校時、生徒会役員選挙立会演説会が第一体育館で行われました。

注目された立候補者の届出を見ると、すべての役職において改選議席数通りとなり、決選投票ではなく信任投票となりました。



↑後列:応援演説者 前列:立候補者

立会演説会終了後、各教室にて投票が行われ、選挙管理委員会によって即日開票となりました。

以下は、投票結果により信任された新体制の顔ぶれです。

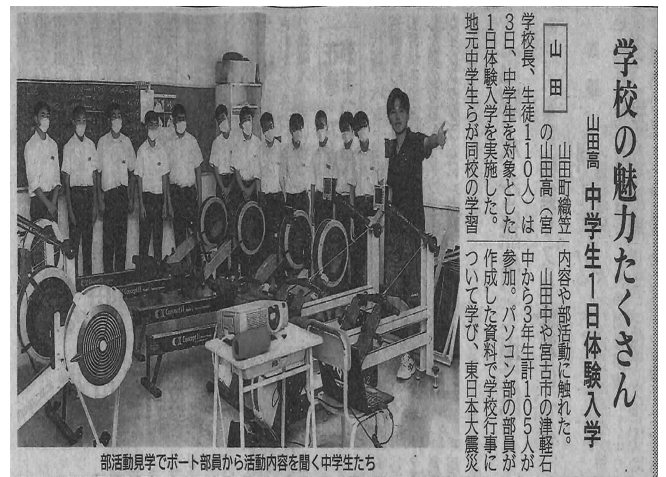
生徒会長候補者をはじめとする各候補者より、公約を中心とする立会演説があり、「山田高校をより良い学校にしたい」という熱い思いを感じることができました。



応援団長 校歌一番披露↑

会長	佐々木 海 音 (2年B組)	
副会長	福 士 春 佳 (2年B組)	
副会長	木 村 拓 夢 (1年B組)	
書記	野 崎 みずき (2年B組)	
書記	昆 留 偉 (1年A組)	
会計	針 生 優 輝 (2年A組)	
当選	会計 川 村 優 依 (1年B組)	
	応援団長 倉 本 大 輝 (2年B組)	

一日体験入学で山高の魅力発信



部活動見学でポート部員から活動内容を聞く中学生たち

学校の魅力たくさん
山田高 中学生1日体験入学
山田町総合立 内容や部活動に触れた。
学校長、生徒100人は、中から3年生計105人が
3日、中学生を対象とした 参加。パソコン部の部員が
1日体験入学を実施した。 山田中や宮市市の津野石
地元中学生らが同校の学習 作成した資料で学校行事に
ついて学び、東日本大震災

からの復興や防災、まちづくりなど各学年ごとに取組む独自プログラム「総合的な探究の時間」の説明を受けた。
中学生はグループごとに運動と文化系の部活動の様子も見学し、高校生活への期待に胸を膨らませた。山田中3年の小林龍菜さんは「勉強や部活動だけでなく、地域から学び、住民のために貢献していることを知った。たくさんさんの魅力がある学校だ」と話した。山田高生徒会会長の福浦真穂さん(3年)は「小規模学校だからこそ先生のサポートが手厚く、生徒の結束も強い。多くの新入生が集まってほしい」と期待した。

7/5(日) 岩手日報より